

令和8年度(2026年)

仕 様 書

業務名 発寒清掃工場空気圧縮機設備整備業務

札幌市環境局環境事業部発寒清掃工場

共通仕様書

I 委託業務の概要

- 1 業務名
発寒清掃工場空気圧縮機設備整備業務
- 2 業務内容
本委託業務は、工場全体の安定した稼働を確保することを目的とし、各空気圧縮機設備の円滑かつ継続的な運転を図るための点検、整備及び清掃等を行うものである。
- 3 履行期間
契約日から令和8年8月31日まで
- 4 履行場所
札幌市西区発寒15条14丁目1番1号
札幌市発寒清掃工場
- 5 設備概要

(1) 計装用空気圧縮機	日立製作所製：DSP-22A5 II	2台
(2) 整備用空気圧縮機	日立製作所製：OSP-22M5AN	2台
(3) バグ用空気圧縮機	日立製作所製：OSP-37S5ARN	2台
(4) 噴霧用空気圧縮機	日立製作所製：OSP-100S5ALI	6台
(5) 計装用空気除湿装置	旭硝子エンジニアリング製：PA-50V	1台
- 6 業務範囲
本共通仕様書、整備仕様書及び図面（複写厳禁）のとおり。
- 7 再委託について
再委託する場合は、事前に再委託承諾願を提出し、委託者の承諾を得ること。
なお、受託者は、次に掲げるものを再委託することは出来ないものとする。
 - (1) 総合的な業務履行計画及び進捗管理
 - (2) 整備手法の決定及び技術的判断
- 8 用語の定義
本仕様書で用いる用語は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、令和5年版建築保全業務共通仕様書による。

II 一般事項

- 1 提出図書等
 - (1) 業務着手時に提出するもの

ア 業務着手届	2部
契約後、業務に着手した時は直ちに届け出ること。	
着手届の余白部分に労働基準監督署からの「労働保険関係成立の証」受領印があること。または、契約日から遡及して1年以内の受付及び受領印が押印されている保険関係成立届、年度更新申請書等の法定様式控え等を添付すること。なお、上記保険成立印取得に時間を要する場合は、「労働者災害補償保険関係成立証明書」を後日提出することも認めるが、その間現場での実作業は行えない。	
イ 業務責任者指定通知書	2部
ウ 業務責任者経歴書	2部
エ 業務日程表	2部
 - (2) 現場作業前に提出するもの（該当しない項目は除外可）
事前に施設管理担当者に提出の上、承諾を得ることとし、内容に不足、疑義等があった場合には、承諾を得るまで作業ができないものとする。

ア 安全管理体制表	1部
ア) 安全管理体制・安全活動計画	
イ 施工管理	1部

- 7) 履行（施工）計画書
- ①連絡体制・履行体制表
 - ②資格者名簿（本業務に必要な資格）
 - ③仮設・搬入計画
- 1) 整備要領書
整備毎に整備手法、手順など詳細な作業手順書を記載すること。
- 2) 立会い項目一覧表
施設管理者の立会いを要する項目と予定日時を記載すること。
- ウ 品質管理 1部
- ア) 品質管理体制・社内検査体制表
- 1) 測定機器一覧
（使用予定測定機器の検査成績書及び校正履歴等の管理記録）
- 2) 品質管理チェックリスト
（自主検査で確認する項目・基準・精度の目標等を記したもの）
- (3) 現場作業中に提出するもの
- ア 作業日報 1部
- イ 週間予定表 1部
- (4) 業務完了時に提出するもの
- ア 提出図書目録 2部
- イ 整備報告書 2部
各整備作業について整理し、一括提出すること。
整備及び検査等に使用する測定機器等については、検査成績書及び校正履歴などの管理記録を併せて提出すること。
また、該当設備・機器について熟知した者が作業を行い、次回交換推奨部品や点検推奨項目等を報告書に記載すること。
- ウ 業務記録写真 2部
業務記録写真は、各整備の整備前、整備中、整備後を撮影し提出すること。
原則として印刷物及び電子媒体の両方を提出すること。印刷物の1部は両面カラーコピーとする。また、写真の整理は以下のとおりとする。
- ・写真は、有効画素数が100万画素程度から300万画素程度（1200×900ピクセル程度から2000×1500ピクセル程度）のデジタル写真とする。
 - ・写真の大きさは、原則としてDSC（89×119）とする。
 - ・写真はA4S版以内のファイルに整理する。
 - ・プリンターはフルカラーで300dpi以上
 - ・用紙、インク等は通常の使用条件のもとで、3年間程度顕著な劣化の生じないもの
- エ 試験成績表（各種測定表を含む） 2部
測定結果については、委託者が別途示す基準値及び許容値を併記し、良否判断が可能な構成とすること。
- オ 業務完了届 2部
- (5) 発注者の必要に応じて提出を求めるもの
名称及び提出時期は次のとおり。
- ア 施設管理担当者との打合せ記録簿（打合せの都度） 1部
- イ 異常報告書（速報）
各種測定記録時に管理基準値外の数値を計測した場合又は異常の疑いが見られる場合にはただちに速報を提出すること。
- (6) 提出図書等の様式
提出する書類等の様式は、事前に施設管理担当者と協議のうえ、承諾を受けること。

- 2 検査に使用する測定器及び計装用計器（以下、「測定器等」という）
 - (1) 検査に使用する測定器等は、校正又は点検調整済みの機器とし、事前に校正記録、検査成績書、点検表及び使用期限を明示した記録を提出し、施設管理担当者の承諾を受けること。
 - (2) 測定器等は、その測定に必要とされる精度のものを使用すること。
 - (3) 測定器等は十分な保管管理を行い、使用しない時は専用のケース及び場所に保管し損傷等による測定値の誤りのないようにすること。
 - (4) 測定器等を損傷させた場合及び誤測定が発生した場合は、代替品により再測定を行うこと。この場合も(1)同様事前承諾を受けること。
- 3 適用法令
 - (1) 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「電気事業法」「労働安全衛生法」等の関係法令に基づいて業務を行うこと。
 - (2) その他適用法令及び適用規格
業務の履行にあたり、下記の関連法令及び規格を遵守すること。
 - ア 日本産業規格
 - イ 内線規程
 - ウ 消防法
 - エ 建築基準法
 - オ 建設業法
 - カ その他関連法令、規格
- 4 業務条件
業務の実施時間帯は、原則として下記のとおりとする。
 - ・業務時間：8時30分～17時00分休日（土・日曜日及び祝祭日）に業務を行う場合及び下記時間帯を超過する場合は、施設管理担当者との協議すること。
 - (1) ごみ受入、ごみ焼却炉の運転、焼却灰搬出の停止期間及び履行期間中の他予定業務・工事は特記による。
 - (2) 施設内入退出について
施設内への入退出場所・方法・時間については、施設管理担当者との調整し、承諾を受けること。
- 5 業務責任者
 - (1) 業務の実施に先立ち業務責任者を選任し、次の事項について書面をもって提出する。
なお、副業務責任者を選任する場合や業務責任者等に変更があった場合も同様とする。
 - ア 氏名
 - イ 生年月日
 - ウ 経歴書
 - エ 受託者との雇用関係を証明する書類等
 - (2) 業務責任者は常駐とし、業務担当者に作業内容及び施設管理担当者の指示事項等を伝え、その周知徹底を図ること。業務責任者がやむを得ない理由により常駐しない期間が発生する場合は、副業務責任者が常駐すること。なお、常駐とは、実際に整備作業（資材・機材の搬入、仮設作業等を含む）が行われている期間を示し、以下の期間を除く。
 - ・契約から現場施工に着手するまでの期間
 - ・炉の切替期間など、整備作業が全面的に一時中止している期間
 - (3) 本業務期間中に別契約の業務委託又は工事と重複する場合、他の業務責任者または現場代理人との工程調整を図ること。
- 6 業務担当者
 - (1) 次のような資格者による作業が必要な場合、関係法令等に従い、適切に有資格者を配置すること。なお、資格者は重複しても差し支えないものとする。
 - ア 日立汎用圧縮機技術認定証 HISCREW
 - イ 日立汎用圧縮機技術認定証 DSP

- ウ その他関連法令等上で必要となる資格
- 7 建物内外施設等の利用
- (1) 居室等の利用
原則として利用できない。
- (2) 資材置場、仮設事務所
資材置場、仮設事務所等に必要とする用地については、施設管理担当者
と十分協議し、当工場の運転管理に支障が生じないように計画すること。
- 8 駐車スペースの利用
業務履行に伴う車両の駐車に必要な用地は、別図に示すので施設管理担当者
と十分協議し、当工場の運転管理に支障が生じないように計画し利用すること。
- 9 安全衛生管理
- (1) 業務責任者は業務担当者の労働安全衛生に関する安全教育に努め、関係法令に従い作
業環境を良好な状態に保つことに留意し、特に換気、騒音防止、照明の確保等に心掛ける
こと。
- (2) 酸欠等作業場所
施設内は、酸素欠乏等の危険な箇所もあることから事前に確認し、業務担当
者に周知するとともに、法律等関係法令を遵守し事故防止に努めること。
- 1 0 火気の取扱
火気を使用する場合は、あらかじめ施設管理担当者の承諾を得るもの
とし、その取扱いに際しては十分注意すること。
- 1 1 喫煙の禁止
喫煙は工場敷地内（車内を含む）において禁止する。
- 1 2 出入禁止箇所
業務に関係のない場所及び部屋への出入は禁止する。
- 1 3 服装等
- (1) 業務関係者は、特記事項による他、業務に適した服装、履物で業務を実施すること。
- (2) 業務関係者は、前号に定める場合、また特別な作業に従事する他は、名札又は腕章の
着用を義務付ける。
- 1 4 施設管理担当者の立会い
作業に際して施設管理担当者の立会いを求める場合は、原則事前の申し出
による。
- 1 5 業務の立会い、確認
施設管理担当者の指示に従い、次の立会い、確認を受けること。
- (1) 業務開始前
当該設備の現状を確認し、履行体制等の準備の後、原則として施設管理
担当者の確認を受けること。
- (2) 業務実施中
- ア 自主検査
受託者は、各機器の整備終了次第チェックシート等により検査し、報告
すること。
- イ 段階確認ほか
各整備は、指定された期間内に実施するものとし、前述の自主検査を
終了した後、施設管理担当者の立会い、確認を受けること。
なお、施設管理担当者より改善指示書が出された場合は指定する期日
までに改善するとともに、当該箇所の改善報告書を提出し、施設管理担当
者の立会い、確認を受けること。
- 1 6 復旧
他の設備及び既存物件の損傷、汚染防止に努め万一損傷又は汚染が生じた
場合は、速やかに施設管理担当者へ報告するとともに、受託者の責任において
原状復旧すること。

1 7 その他

- (1) 作業は本仕様書に基づいて行い、部品等について明記のない場合及び汎用品を除き、部品等はメーカー純正品とし規格・型番等は厳格に守ること。
- (2) 各作業について職種別に人工数を作業日誌等で報告すること。
- (3) 各機器整備後の試運転調整、完了条件は特記事項による。
- (4) 特許等に関わる事項は、受託者にて整理すること。

III 特記事項

1 受託者の負担の範囲

受託者の負担の範囲は次による。

- (1) 業務の実施に必要な車両に係る経費
- (2) 業務の実施に必要な工具、校正証書付計測器等機材（機器付属品は除く）
- (3) 業務の実施に必要な消耗部品、材料、油脂等（支給品除く）
- (4) 業務の実施に必要な事務所、エアシャワー室等の仮設資材
- (5) 業務の実施に必要な電気料金
- (6) 業務の実施に必要な外線電話等の使用に係る経費
- (7) 文具等の事務消耗品
- (8) 日誌及び報告書の用紙、記録ファイル

2 業務条件

- (1) 履行期間中においても、ごみの受入れ及び焼却炉の運転は継続していることから、関連設備の整備を行う場合は、運転中の焼却炉等に支障のない方法で行うこと。
- (2) 履行期間中において、焼却炉の運転休止に関する作業については施設管理担当者と綿密な調整を図りながら、次の予定停止期間内で実施すること。
- (3) 焼却炉等の予定停止期間

焼却施設 中間整備期間

1号炉：令和8年6月3日～令和8年6月29日

2号炉：令和8年6月1日～令和8年6月24日

（全停電期間）

令和8年6月13日～令和8年6月14日

なお、上記予定は令和8年2月時点のものであり、日程は変更される場合がある。

- (4) 本業務履行期間中における他予定業務、工事は次のとおりである。

- ア 発寒清掃工場焼却設備中間整備業務
- イ 発寒清掃工場ダイオキシン濃度測定業務
- ウ 発寒清掃工場計装システム保守業務
- エ 発寒清掃工場ポンプ設備整備業務
- オ 発寒清掃工場電気設備整備業務

3 ダイオキシン類ばく露対策

整備にあたっては、「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露対策要綱」（平成26年1月10日付基発0110第1号）に基づき作業を実施するものとし、粉じん対策ダイオキシン類飛散防止対策については、次のことに留意すること。

- (1) ダイオキシン飛散防止要領（該当しない項目は除外可）
 - ア 委託者主催のダイオキシン類ばく露防止対策委員会に出席すること。
 - イ 前号協議事項及び受託者が提出するダイオキシン類飛散防止計画書に基づき養生した後、施設管理担当者の承諾を受けること。
 - ウ エアシャワー室（附帯する設備及びエアシャワー室用エアを含む）を使用すること。
- (2) 管理区域
 - 保護具は管理区域別に、施設管理担当者の承諾を得て措置すること。

	場所名	管理区域	保護具レベル	備考
	炉室	第1管理区域	レベル1	

4 アスベスト事前調査等

- (1) 「石綿事前調査等結果報告書（アスベスト調査票）」並びに「当該施設のしゅん功図等」を貸与するので、図面及び現場の目視調査で施工場所におけるアスベスト及びその他有害物質の有無を有資格者によって確認すること。
- (2) アスベスト及びその他有害物質の使用が不明な見え隠れ部分の調査については、保護具を装着して、必要に応じて建材を湿潤に保ちながら手ばらしで行い、新たにアスベスト及びその他有害物質を発見した場合には、速やかに作業を中止し、監督員と施工方法等について協議すること。

(3) 調査結果の報告

事前調査が完了した際は、石綿障害予防規格及び大気汚染防止法に基づき、以下のとおり各種報告書等を行うこと。

- ①委託者に事前調査の結果等を書面で交付し、説明すること。
- ②労働基準監督署及び札幌市（環境局）に事前調査の結果等について報告を行うこと。
- ③事前調査の結果等については、公衆にみやすいように掲示すること。

5 仮設設備等及び作業動線養生

- (1) 事前に仮設計画書を提出し、施設管理担当者の承諾を得ること。
- (2) 通路及びエレベーター等の作業動線を養生すること。

6 緊急措置

本仕様書に明記していない不測の事態が発生した場合は、速やかに施設管理担当者に報告の上、処置方法を協議し対処すること。

7 支給部品

整備仕様に示すとおり。

また、支給材料の数量、外観、機能検査を行い、疑義がある場合は直ちに施設管理担当者へ連絡すること。

8 廃棄物の処理

- (1) 業務の実施に伴う発生材の処理先（引渡場所）は以下のとおりとする。

	発生材・廃棄物名	処理先（引渡場所）
ア	焼却可能物	工場指定場所
イ	廃金属	廃材置場
ウ	廃油	廃油置場

- (2) 仮設事務所から出る廃棄物及び仮設便所の処理費用は、受託者の負担とする。

9 完了確認

受託者は、各設備・機器の整備終了後、以下の(1)(2)の検査、並びに(3)の合格条件を満たしていることの確認を受けること。

- (1) 個別機器の整備報告書等に基づく検査
- (2) 試運転
 - ア 個別機器の試運転検査
 - イ 各焼却炉の試運転検査
- (3) 合格条件
 - ア 前述の検査において不具合、不良箇所が発見されない場合。
 - イ 前述の検査において不具合が発見された場合、直ちに原因の調査、報告を行い、補修方法等について協議するものとし、
 - ア) その原因が受託者の責に帰するものである場合は、受託者の責任により復旧し、再度、前号と同様の検査方法により不具合が発見されない場合。

イ) その原因が受託者の責に帰するものでない場合。

1 0 環境負荷の低減

- (1) 本業務の履行においては、委託者である札幌市の環境マネジメントシステムに準じ、環境負荷の低減に努めること。
- (2) 施設内清掃作業にあたっては、環境に配慮した資機材及び装備等を使用し、極力節約に努めること。
- (3) 自動車等を使用する場合は、できるだけ環境負荷の少ない車両を使用し、アイドリングストップの実施など環境に配慮した運転を心がけること。
- (4) 本業務の履行において使用する物品・材料等は極力環境に配慮したものをを使用すること。
- (5) 業務に伴い排出される廃棄物は極力、減量、リサイクルすること。

1 1 その他

- (1) 本仕様書に明記のない事項については、施設管理担当者と協議して決定する。
- (2) 疑義の発生についても前号と同様とする。

	整備箇所	図番	整備内容及び特記事項
1	計装用空気圧縮機 点検整備	A1 ～ A16	<p>1. 計装用空気圧縮機の点検整備(4年点検整備)を行うこと。</p> <p>2. 点検整備に伴う分解、点検、清掃、および各種部品交換を行うこと。</p> <p>3. 点検・整備項目については別添「点検・整備項目一覧」、交換部品については別添「支給部品一覧」を参照のこと。</p> <p>4. 整備後、試運転調整を行うこと。</p> <p>5. 中間整備期間(1・2号炉ともに停止期間)に実施すること。 ただし、1台ずつ整備を行い、整備を行っていない機器は使用可能な状態とすること。</p> <p>[対象機器] 日立製作所製 DSP-22A5II No.1、No.2 計2台 設置場所:工場棟1F コンプレッサー室 (第1管理区域 保護具レベル1)</p>
2	整備用空気圧縮機 点検整備	B1 ～ B14	<p>1. 整備用空気圧縮機の点検整備(1年点検整備)を行うこと。</p> <p>2. 点検整備に伴う分解、点検、清掃、および各種部品交換を行うこと。</p> <p>3. 点検・整備項目については別添「点検・整備項目一覧」、交換部品については別添「支給部品一覧」を参照のこと。</p> <p>4. 整備後、試運転調整を行うこと。</p> <p>5. 中間整備期間(1・2号炉ともに停止期間)に実施すること。 ただし、1台ずつ整備を行い、整備を行っていない機器は使用可能な状態とすること。</p> <p>[対象機器] 日立製作所製 OSP-22M5AN No.1、No.2 計2台 設置場所:工場棟1F コンプレッサー室 (第1管理区域 保護具レベル1)</p>

	整備箇所	図番	整備内容及び特記事項
3	バグ用空気圧縮機 点検整備	B1 ～ B16	<ol style="list-style-type: none"> 1. バグ用空気圧縮機の点検整備(8年点検整備)を行うこと。 2. 点検整備に伴う分解、点検、清掃、および各種部品交換を行うこと。 3. 点検・整備項目については別添「点検・整備項目一覧」、交換部品については別添「支給部品一覧」を参照のこと。 4. 整備後、試運転調整を行うこと。 5. 中間整備期間(1・2号炉ともに停止期間)に実施すること。 <p>[対象機器]</p> <p>日立製作所製 OSP-37S5ARN</p> <p>No.1、No.2 計 2 台</p> <p>設置場所:工場棟3F バグフィルタ下 (第1管理区域 保護具レベル1)</p>
4	噴霧用空気圧縮機 点検整備 (1号炉)	C1 ～ C14	<ol style="list-style-type: none"> 1. 噴霧用空気圧縮機の点検整備(2年点検整備)を行うこと。 2. 点検整備に伴う分解、点検、清掃、および各種部品交換を行うこと。 3. 点検・整備項目については別添「点検・整備項目一覧」、交換部品については別添「支給部品一覧」を参照のこと。 4. 整備後、試運転調整を行うこと。 試運転調整時は消音器を使用することとし、消音器および消音器を接続するために必要となる資材については受注者が用意すること。 5. 中間整備期間(1号炉の停止期間)に実施すること。 <p>[対象機器]</p> <p>日立製作所製 OSP-100S5ALI</p> <p>1号 No.1、No.2、No.3 計 3 台</p> <p>設置場所:工場棟3F バグフィルタ下 (第1管理区域 保護具レベル1)</p>

整備箇所	図番	整備内容及び特記事項
5 噴霧用空気圧縮機 点検整備 (2号炉)	C1 ~ C14	<ol style="list-style-type: none"> 1. 噴霧用空気圧縮機の点検整備(1年点検整備)を行うこと。 2. 点検整備に伴う分解、点検、清掃、および各種部品交換を行うこと。 3. 点検・整備項目については別添「点検・整備項目一覧」、交換部品については別添「支給部品一覧」を参照のこと。 4. 整備後、試運転調整を行うこと。 試運転調整時は消音器を使用することとし、消音器および消音器を接続するために必要となる資材については受注者が用意すること。 5. 中間整備期間(2号炉の停止期間)に実施すること。 <p>[対象機器]</p> <p>日立製作所製 OSP-100S5ALI</p> <p>2号 No.1、No.2、No.3 計 3 台</p> <p>設置場所:工場棟3F バグフィルタ下 (第1管理区域 保護具レベル1)</p>

	整備箇所	図番	整備内容及び特記事項
6	計装用空気除湿装置点検整備	D1 ～ D2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 計装用空気除湿装置の点検整備を行うこと。 2. 点検整備に伴う分解、点検、清掃、および各種部品交換を行うこと。 3. 点検・整備項目については別添「点検・整備項目一覧」、交換部品については別添「支給部品一覧」を参照のこと。 4. 気密試験および絶縁抵抗試験を行うこと。 気密試験は常用圧加圧にて5分以上保持し、各接続部およびフランジからの漏洩有無を確認すること。 絶縁抵抗試験は制御盤操作回路およびA、B筒ヒーターとの絶縁を測定すること。 5. 整備後、試運転調整を行うこと。 6. 中間整備期間(1・2号炉ともに停止期間)に実施すること。 <p>[対象機器] 旭硝子エンジニアリング製 PA-50V 1台(脱湿筒本体A、Bと付属機器) 設置場所:工場棟1F コンプレッサー室 (第1管理区域 保護具レベル1)</p>

別添 1

点検・整備項目一覧

1. 計装用空気圧縮機設備

点検種別 4年点検 (8,000 h/y)

製品名 日立オイルフリースクルー圧縮機

型式 DSP-22A5II

台数 2台

A. 目視確認項目

No.	区分	点検箇所	備考
1	圧縮機本体	傷・磨耗・運転音確認ほか	Vプーリ溝摩耗値を測定すること
2	容量制限装置	作動確認ほか	
3	ギヤケース・潤滑油系統	運転音確認ほか	
4	補機モータ	運転音確認ほか	
5	クーラ	外観チェック	
6	クーラント	運転音確認ほか	
7	主モータ	傷・磨耗・運転音確認ほか	Mシープ溝摩耗値を測定すること
8	始動盤	目視確認	
9	OMR	ゼロ点確認ほか	
10	ドレン排出	ドレン確認	
11	その他	汚れ確認	

B. 基本作業項目

No.	整備部品・整備項目	作業内容	作業対象	備考
			●:対象 -:対象外 4年点検	
1	油面、クーラント液面	点検	●	
2	制御配管	ドレン排出	●	
3	制御配管フィルター	清掃	●	
4	アフタークーラー(空気側)	点検・清掃	●	
5	オイルクーラー(空気側)	点検・清掃	●	
6	クーラントクーラー(空気側)	点検・清掃	●	
7	ハイプレクーラー(空気側)	点検・清掃	●	
8	容量制御装置作動	点検	●	
9	逆止弁漏れチェック	点検	●	
10	クーラントポンプメカシール	点検	-	
11	継手、ボルトナット部	増締・点検	●	
12	オイルストレーナー(1次側)	清掃	●	
13	クーラントストレーナー	清掃	●	
14	ベルト	張力点検	-	
15	計器、リレー、電気品	点検	●	
16	アフタークーラー	点検・清掃	●	
17	オイルクーラー	点検・清掃	●	
18	クーラントクーラー	点検・清掃	●	
19	ハイプレクーラー	点検・清掃	●	
20	三方電磁弁、容量制御装置	点検	●	
21	安全弁	点検・清掃	●	
22	クーラントポンプ	点検	●	
23	プレッシャーキャップ	点検	-	
24	保護、安全装置	点検	●	
25	モーター	点検	●	

※交換部品については別添「支給部品一覧」を参照のこと。

C. 試運転

No.	作業内容	備考
1	各所運転確認	
2	ロード運転時の計測記録 ①電圧②絶縁③電流④空気圧力(1段)⑤空気温度(吸込,1段出口,AC出口) ⑥給油温度⑦給油圧力⑧クーラント温度⑨クーラント圧力⑩空気槽圧力	管理値を併記し、評価を行うこと
3	空気槽までの実負荷運転確認	

2. 整備用空気圧縮機設備

点検種別 1年点検 (6,000 h/y)
 製品名 日立油冷式スクリーン圧縮機
 型式 OSP-22M5AN
 台数 2台

A. 目視確認項目

No.	区分	点検箇所	備考
1	圧縮機本体	傷・磨耗・運転音確認ほか	Vプーリ溝摩耗値を測定すること
2	容量制限装置	傷・摩耗確認ほか	
3	潤滑油系統	汚れ確認ほか	
4	補機モータ	傷・摩耗確認ほか	
5	クーラ	目視確認	
6	主モータ	傷・磨耗・運転音確認ほか	Mシープ溝摩耗値を測定すること
7	始動盤	目視確認	
8	その他	ゼロ点確認ほか	

B. 基本作業項目

No.	整備部品・整備項目	作業内容	作業対象	備考
			●:対象 -:対象外 1年点検	
1	油面計	油面確認	●	
2	吐出温度	吐出温度確認	●	
3	冷媒圧力	圧力確認	●	
4	リリーフ弁	作動確認	●	
5	ドライヤー・ドレン排出ユニット	点検・清掃	●	
6	潤滑油(専用合成油)	補給	●	
7	メカニカルシール	油漏れ点検	●	
8	ベルト・プーリー	点検	●	
9	電磁弁	作動確認	●	
10	冷却ファン	亀裂点検・清掃	●	
11	モーター	絶縁点検	●	
12	電気品・計器類・センサー	点検・清掃・交換	●	
13	配管継手類	緩み点検	●	
14	オイルクーラー・アフタークーラー	清掃	●	
15	ドライヤー凝縮器	清掃	●	
16	ドライヤーファン・モーター	点検	●	
17	温調弁	点検・清掃	-	
18	サーミスター	点検	-	
19	制御基板・電源基盤	点検・清掃	-	

※交換部品については別添「支給部品一覧」を参照のこと。

C. 試運転

No.	作業内容	備考
1	各所運転確認	
2	ロード運転時の計測記録 ①電圧②絶縁③電流④空気圧力⑤空気温度(吸込,本体出口,AC出口) ⑥給油温度(OC入口,OC出口)⑦空気槽圧力	管理値を併記し、評価を行うこと
3	空気槽までの実負荷運転確認	

3. バグ用空気圧縮機設備

点検種別 8年点検 (6,000 h/y)
 製品名 日立油冷式スクリーン圧縮機
 型式 OSP-37S5ARN
 台数 2台

A. 目視確認項目

No.	区分	点検箇所	備考
1	圧縮機本体	傷・磨耗・運転音確認ほか	Vブリー溝摩耗値を測定すること
2	容量制限装置	作動確認	
3	潤滑油系統	汚れ確認ほか	
4	補機モータ	傷・磨耗確認ほか	
5	クーラ	目視確認	
6	主モータ	傷・磨耗・運転音確認ほか	Mシープ溝摩耗値を測定すること
7	始動盤	目視確認	
8	ドライヤ	目詰確認ほか	
9	その他	ゼロ点確認ほか	

B. 基本作業項目

No.	整備部品・整備項目	作業内容	作業対象	備考
			●:対象 -:対象外 8年点検	
1	油面計	油面確認	-	
2		清掃	-	
3	吐出温度	吐出温度確認	●	
4	冷媒圧力	圧力確認	●	
5	安全弁	作動確認	●	
6	ドライヤードレン排出ユニット	点検・清掃	●	
7	潤滑油(専用合成油)	補給	●	全量交換
8	メカニカルシール	油漏れ点検	-	
9	ベルト・ブリー	点検	●	
10	電磁弁	作動確認	●	
11	冷却ファン	亀裂点検・清掃	●	
12	モーター	絶縁点検	●	
13	電気品・計器類・センサー	点検・清掃	●	
14	配管継手類	緩み点検	●	
15	オイルクーラー・アフタークーラー	清掃	●	
16	ドライヤ凝縮器	清掃	●	
17	ドライヤファン・モーター	点検	●	
18	温調弁	点検・清掃	-	
19	サーミスター	点検	●	
20	制御基板、電源基盤	点検・清掃	●	

※交換部品については別添「支給部品一覧」を参照のこと。

C. 試運転

No.	作業内容	備考
1	各所運転確認	
2	ロード運転時の計測記録 ①電圧②絶縁③電流④空気圧力⑤空気温度(吸入,本体出口,AC出口) ⑥給油温度(OC入口,OC出口)⑦ドライヤ冷媒圧力⑧空気槽圧力	管理値を併記し、評価を行うこと
3	空気槽までの実負荷運転確認	

4. 噴霧用空気圧縮機設備 (1号炉)

点検種別 2年点検 (6,000 h/y)
 製品名 日立油冷式スクリー圧縮機
 型式 OSP-100S5ALI
 台数 3 台

A. 目視確認項目

No.	区分	点検箇所	備考
1	圧縮機本体	傷・磨耗・運転音確認ほか	
2	容量制限装置	作動確認	
3	潤滑油系統	汚れ確認ほか	
4	補機モータ	傷・磨耗確認ほか	
5	クーラ	目視確認	
6	主モータ	傷・磨耗・運転音確認ほか	
7	始動盤	目視確認	
8	その他	ゼロ点確認ほか	

B. 基本作業項目

No.	整備部品・整備項目	作業内容	作業対象	備考
			●:対象 -:対象外 2年点検	
1	吐出温度	吐出温度確認	●	
2	安全弁	作動確認	●	
3	潤滑油(専用合成油)	補給	●	
4	メカニカルシール	油漏れ点検	●	
5	電磁弁	作動確認	●	
6	冷却ファン	亀裂点検・清掃	●	
7	モーター	グリース補給・絶縁点検	●	
8	電気品・計器類・センサー	点検・清掃	●	
9	配管継手類	緩み点検	●	
10	オイルクーラー・アフタークーラー	清掃	●	
11	油面計	油面確認・清掃	-	
12	温調弁	点検・清掃	-	
13	制御基板	点検・清掃	-	

※交換部品については別添「交換部品一覧」を参照のこと。

C. 試運転

No.	作業内容	備考
1	各所運転確認	
2	ロード運転時の計測記録 ①電圧②絶縁③電流④空気圧力⑤空気温度(吸入,本体出口,AC出口) ⑥給油温度(OC入口,OC出口)	管理値を併記し、評価を行うこと
3	実負荷運転確認	消音器を使用すること

5. 噴霧用空気圧縮機設備 (2号炉)

点検種別 1年点検 (6,000 h/y)
 製品名 日立油冷式スクリーン圧縮機
 型式 OSP-100S5ALI
 台数 3台

A. 目視確認項目

No.	区分	点検箇所	備考
1	圧縮機本体	傷・磨耗・運転音確認ほか	
2	容量制限装置	作動確認	
3	潤滑油系統	汚れ確認ほか	
4	補機モータ	傷・磨耗確認ほか	
5	クーラ	目視確認	
6	主モータ	傷・磨耗・運転音確認ほか	
7	始動盤	目視確認	
8	その他	ゼロ点確認ほか	

B. 作業項目

No.	整備部品・整備項目	作業内容	作業対象	備考
			●:対象 -:対象外 1年点検	
1	吐出温度	吐出温度確認	●	
2	安全弁	作動確認	●	
3	潤滑油(専用合成油)	補給	●	
4	メカニカルシール	油漏れ点検	●	
5	電磁弁	作動確認	●	
6	冷却ファン	亀裂点検・清掃	●	
7	モーター	グリース補給・絶縁点検	●	
8	電気品・計器類・センサー	点検・清掃	●	
9	配管継手類	緩み点検	●	
10	オイルクーラー・アフタークーラー	清掃	●	
11	油面計	油面確認・清掃	-	
12	温調弁	点検・清掃	-	
13	制御基板	点検・清掃	-	

※交換部品については別添「交換部品一覧」を参照のこと。

C. 試運転

No.	作業内容	備考
1	各所運転確認	
2	ロード運転時の計測記録 ①電圧②絶縁③電流④空気圧力⑤空気温度(吸入,本体出口,AC出口) ⑥給油温度(OC入口,OC出口)	管理値を併記し、評価を行うこと
3	実負荷運転確認	消音器を使用すること

6. 計装用空気除湿装置

点検種別 定期点検(前回点検日:2023年6月15日)
 製品名 旭硝子エンジニアリング製 空気除湿装置
 型式 PA-50V
 台数 1台

A. 目視確認項目

No.	区分	点検箇所	備考
1	除湿筒及び配管	錆・変形等の異常の有無ほか	
2	デミスター	錆等の異常の有無ほか	
3	四方切換弁	作動確認ほか	
4	三方口電磁弁	作動確認ほか	
5	排気用電磁弁	作動確認ほか	
6	圧力計	作動確認ほか	
7	温度計	作動確認ほか	
8	逆止弁	錆・変形等の異常の有無ほか	
9	Y型ストレーナ	錆・変形等の異常の有無ほか	
10	制御盤	内部汚れ確認	
11	その他	汚れ確認	

B. 基本作業項目

No.	整備部品・整備項目	作業内容	作業対象	備考
			●:対象 -:対象外 定期点検	
1	吸着剤	交換	●	吸着剤は、活性アルミナ
2	除湿筒及び配管	点検・清掃	●	
3	デミスター	点検・清掃	●	
4	四方切換弁	点検・清掃	●	
5	三方口電磁弁	交換	●	
6	排気用電磁弁	点検・清掃・交換	●	交換箇所は、電磁弁用移動鉄心及びダイヤフラム
7	圧力計	点検・清掃	●	
8	温度計	点検・清掃	●	
9	逆止弁	点検・清掃	●	
10	Y型ストレーナ	点検・清掃	●	
11	制御盤	点検・清掃	●	
12	ヒーター	点検・清掃・絶縁抵抗測定	●	
13	その他	清掃	●	

※交換部品については別添「支給部品一覧」を参照のこと。

C. 試運転

No.	作業内容	備考
1	各所運転確認	
2	気密試験	
3	交互代替運転確認	管理値を併記し、評価を行うこと
4	露点測定	管理値を併記し、評価を行うこと

別添2

支給部品一覧

No.	品名	品番	数量	個	図番
(株) 日立産機システム DSP-22A5II (計装用) 2台分 (4年点検)					
1	給油口パッキン	2421-3160	2	個	A4
2	清掃カバーパッキン	5372-3230	2	個	A4
3	オイルポンプ支えパッキン	5118-3250	2	個	A4
4	オイルポンプパッキン	2421-3260	2	個	A4
5	リリース弁パッキン	5118-3990	2	個	A4
6	Oリング	3322-6018	2	個	A4
7	Oリング	3322-110A	2	個	A4
8	Oリング	3322-1016	4	個	A4
9	アンローダパッキン	3561-5110	2	個	A8
10	サクシヨンパッキン	5168-5120	2	個	A8
11	吸気パッキン	5634-5130	2	個	A8
12	エアシリンダ部品キット	5118-5510	2	個	A8
13	シールワッシャー	2530-2631	2	個	A8
14	グリースまとめ	2429-8100	2	個	A1
15	VRベルト(2本セット)	5636-4050	2	個	A3
16	6312ZZC3 モータベアリング	5240-1140	2	個	A3
17	6310ZZCM モータベアリング	5231-1140	2	個	A3
18	電池組み	5051-4221	2	個	A1
19	ラインフィルタ	5372-E090	2	個	A1
20	オイルポンプ部品キット	5118-9952	2	個	A12
21	フィルタ	5297-4850	2	個	A11
22	クーラントポンプ消耗品	5372-9942	2	個	A13
23	圧力キャップ単品	4221-8360	2	個	A14
24	Cストレーナ用ガasket(NA)	4221-8611	2	個	A14
25	DSPクーラント(5L)	5118-9990	2	個	A14
26	83CUパッキン	5903-1580	4	個	A7
27	83丸逆止弁	3561-9061	2	個	A7
28	吐出配管パッキン	5634-D190	4	個	A7
29	オイルフィルタエレメント	5372-8810	2	個	A6
30	制御フィルタOリング	2422-0991	2	個	A9
31	制御フィルタエレメント	2422-0241	2	個	A9
32	サクシヨンフィルタエレメント	2171-7211	2	個	A15
33	OMR消耗品キット	5372-E633	2	個	A16
34	専用鉱物油(20L)	5904-7620	2	個	A1

No.	品名	品番	数量	個	図番
(株) 日立産機システム OSP-22M5AN (整備用) 2台分 (1年点検)					
35	VRベルト	5518-A250	2	個	B3
36	Vプーリ(0.7MPa)	5900-0140	2	個	B3
37	圧力計	5230-5050	2	個	B10
38	SPエレメント(角リング付)	5530-3021	2	個	B5
39	オイルフィルタエレメント	5517-5910	2	個	B6
40	サクシオンフィルタエレメント	5232-2330	2	個	B8
41	Oリング	3321-6040	2	個	B5
42	Y型ストレーナパッキン	5900-0090	2	個	B1
43	スクリーウオイルNEXT(4L)	5517-3301	2	個	B5
(株) 日立産機システム OSP-37S5ARN (バグ用) 2台分 (8年点検)					
44	キット部品	5900-1551	2	個	B1
45	Oリング	3321-6040	2	個	B5
46	Mシーブ	5232-1060	2	個	B3
47	VRベルト(2本セット)	5900-0260	2	個	B3
48	6314ZZC3(EBS) モータベアリング	5232-1130	2	個	B3
49	6312ZZC3(ENS) モータベアリング	5232-1140	2	個	B3
50	ファンモータ(400V)	5900-4162	2	個	B4
51	サーミスターTH2	5230-3243	2	個	B5
52	サーミスタ	5230-3251	2	個	B5
53	逃し弁(安全弁)	5904-2010	4	個	B5
54	温調弁(77℃)	5521-5720	2	個	B6
55	ボールバルブ	5559-5790	2	個	B6
56	ボールバルブ	5904-4690	2	個	B6
57	1/4逆止弁	5517-8611	2	個	B6
58	Oリング	5900-0490	6	個	B6
59	キャピラリー (630mm)	5253-5060	4	個	B1
60	AFセンサー	5265-2240	2	個	B1
61	圧力計	5230-5050	2	個	B10
62	圧力スイッチ	5230-6720	2	個	B10
63	圧力センサー	5517-5330	2	個	B10
64	MGVまとめ(20P)100V	5900-1500	2	組	B1
65	放気弁 100V	5908-0890	2	個	B1
66	MGVまとめ(20US)100V	5900-1510	2	個	B1
67	リリーフ弁	2171-5890	2	個	B10

No.	品名	品番	数量		図番
68	排出弁 100V	5904-4790	2	個	B15
69	インナーエレメント	5900-1390	2	個	B1
70	換気用エレメント	5900-1380	2	個	B1
71	簡易Pフィルタ(ドライヤ)	5900-1080	2	個	B1
72	スクリーオイルNEXT(20L)	5517-3321	2	個	B5
(株) 日立産機システム OSP-100S5ALI (1号噴霧用) 3台分 (2年点検)					
73	RMSグリース400g	5903-1350	3	個	C3
74	キャップシール	4381-3030	3	個	C8
75	バルブシート(青)	5845-2100	3	個	C8
76	パッキン	4381-3301	3	個	C8
77	アンローダブッシュメタル	5845-2130	3	個	C8
78	ブッシュメタルOリング	5845-2150	3	個	C8
79	アンローダOリング	2961-3330	3	個	C8
80	サクシヨンフィルタ	5406-2330	3	個	C8
81	吸込パッキン	5406-2430	3	個	C8
82	オイルセパレータエレメント	5845-3020	3	個	C5
83	エレメントパッキン	5343-3030	6	個	C5
84	Oリング	3321-6040	6	個	C5
85	給油口栓	2111-4190	3	個	C5
86	油面計キット	5845-3250	3	組	C5
87	圧力計	5230-5050	3	個	C10
88	キャピラリー(1600mm)	5281-5060	3	個	C1
89	調整弁ダイヤフラム	2530-2770	3	個	C9
90	調整弁ゴムPK	2530-2760	3	個	C9
91	調圧弁Oリング	5305-5560	3	個	C9
92	調圧弁ピストン	5305-5570	3	個	C9
93	逆止弁ピストンまとめ	5305-5581	3	個	C9
94	緩和弁Oリング	5281-6900	3	個	C9
95	K.BスピンドルOリング	5281-6910	3	個	C9
96	K.BピストンOリング	5281-6920	3	個	C9
97	カバーパッキン	5343-6941	3	個	C9
98	減圧弁	5900-1570	3	個	C10
99	逆止弁	3304-4003	15	個	C10
100	フランジ2PK	5664-5811	12	個	C7
101	セパレータPK	5697-8731	3	個	C7

No.	品名	品番	数量		図番
102	オイルフィルタエレメント	5281-5910	3	個	C6
103	Oリング	3321-6120	3	個	C7
104	ピストンまとめ	5771-5220	3	個	C10
105	真空緩和弁取り付けOリング	5664-8720	6	個	C10
106	配管用Oリング	5281-5730	6	個	C6
107	フランジパッキン	3320-F050	3	個	C7
108	フランジパッキン	3320-F080	3	個	C7
109	スクリーオイルNEXT(20L)	5517-3321	6	個	C5
110	スクリーオイルNEXT(4L)	5517-3301	6	個	C5
(株) 日立産機システム OSP-100S5ALI (2号噴霧用) 3台分 (1年点検)					
111	RMSグリース400g	5903-1350	3	個	C3
112	サクシオンフィルター	5406-2330	3	個	C8
113	オイルセパレータエレメント	5845-3020	3	個	C5
114	エレメントパッキン	5343-3030	6	個	C5
115	Oリング	3321-6040	3	個	C5
116	オイルフィルタエレメント	5281-5910	3	個	C6
117	セパレーターPK	5697-8731	3	個	C7
118	フランジパッキン	3320-F050	3	個	C7
119	フランジパッキン	3320-F080	3	個	C7
120	スクリーオイルNEXT(4L)	5517-3301	3	個	C5
121	キャピラリー(1600mm)	5281-5060	3	個	C1
122	キャピラリー-接手(ストレート)	5908-0780	3	個	C1
旭硝子エンジニアリング(株) PA-50V (計装用) 1台分					
123	吸着剤(活性アルミナ)	MA4B-312	105	kg	D1
124	排気電磁弁用ダイヤフラム(15A)	—	1	枚	D2
125	排気電磁弁用移動鉄心(15A)	—	1	個	D2
126	三方口電磁弁(8A)	—	2	個	D1